

コンソーシアムの活動状況を知っていただくため、不定期でかわら版を発行しますのでご一読ください。

● ドイツ林業先進地調査を行いました

去る7月19日(木)～26(木)までの8日間、コンソーシアム会員及びアカデミー事務局の計7名がドイツ林業先進地調査のため、ドイツに渡航しました。

今回の調査では、ドイツ・ミュンヘンで4年に1回開催されるINTERFORST2018林業機械国際見本市の調査や、ロッテンブルク大学との意見交換、5年前に開設した屋根型林道の視察、森林獣害対策に関する独フォレスターとの意見交換、日独企業連携しているPSS社との林業用防護服開発の協議及び代理店商談、獣害防止用Tubex資材の追加注文及び新たな資材の導入、広葉樹林の将来木施業など、全8プログラムにわたる調査を行いました。

この結果、日本で有効な林業機械の発掘など、新たな日独企業連携に発展する可能性を得るなど、大きな成果がありました。

なお、詳しい内容は、来る10月16日(火)のコンソーシアム中間報告会にて報告します。中間報告会の開催は追ってご案内しますので、皆様の積極的な参加をお待ちしております。



INTERFORST2018 会場



200年生広葉樹施業林



PSS社との商談

● 改善実施プロジェクトの提案発表会を開催しました

木材生産の効率化WGでは、今年度から生産性の改善活動に取り組む会員企業4者からなるプロジェクトチームを結成し、全4回の基礎研修を通じて、自社の生産現場での課題の抽出、分析(定量評価)、実施可能な具体的な解決策を検討し、提案書として取りまとめました。さらに、作成した提案書を各経営者に対して報告する提案発表会を去る8月7日(火)に開催しました。

どの事業体もコミュニケーション不足が課題となっており、改善提案内容は、「ベテラン森林技術者の作業技術の見える化」「プランナーと現場班長の協働によるプラン書作成」「現場班長の段取り・指導スキルの向上」「意思疎通を図るタブレットの導入」と言った精神論ではない具体的な提案内容でした。

発表後、経営者らによる生産性向上のための話し合いが行われ、「現場班長のリーダー力・班員教育スキルの向上」「プランナーと現場班長で作業に関する合意を作る仕組み作り」「意欲向上に繋がる人事評価制の必要性」などが議論されました。

9月からは、提案内容を具体的に取るよう実践研修が実施され、今年度末には研修成果の報告を行います。



コンソーシアムで取り組んでほしい活動などありましたら、事務局までお気軽にご連絡ください。

発行：岐阜県森林技術開発・普及コンソーシアム 事務局（岐阜県立森林文化アカデミー内）
〒501-3714 美濃市曾代88 / TEL:0575-35-2535 / FAX:0575-35-2529
E-Mail: gifu.shinrin.consortium@gmail.com